

地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業
防災リレー講座

第7回
災害時の子どもの居場所づくりは
なぜ必要か

おの みちこ
講師：小野 道子 先生
東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科 准教授

令和8年 2月3日 (火)
15:00～16:45

場所：鳥羽商工会議所 3階
かもめホール（オンライン参加も可）

<https://forms.gle/j7kg5Zn8oW3rjpaQ8>



二次元コードからPC、スマホ
でもお申込みいただけます

申し込みは裏面の連絡先、あるいは
左の二次元コードからお申し込みください



講師プロフィール

2004年から2010年までUNICEF職員として子どもの保護事業に携わる。
2011年から2016年まで日本ユニセフ協会東日本大震災緊急支援事業
子どもの保護アドバイザーとしての経験からNPO法人災害時こどものこころと
居場所サポートを設立、現在、代表理事。災害時および平時の子どもの居
場所づくりの研修などを主導。こども家庭庁「災害時におけるこどもの居場所
づくり」調査研究事業と手引き（※）の作成に携わる。

※子ども家庭庁 災害時の子どもの居場所づくりガイドライン概要ページ
<https://www.cfa.go.jp/policies/ibasho/saigaiji>



【主催】認定NPO法人 SEEDS Asia
【共催】鳥羽市 鳥羽市教育委員会



■開催趣旨

近年、自然災害の激甚化・頻発化に加え、子どもたちを取り巻く事件や事故も多発しています。こうした多様なリスクの中で、子どもの安全・安心を守り、そして「ここで暮らし続けたい」という想いをどう育むか—それは、地域の未来をどう築いていくかという問いでもあります。

第7回では、災害時に子どもが直面する課題に焦点を当て、発災直後から中長期にかけて子どもの居場所づくりについて考えます。令和7年に子ども家庭庁より発行された「災害時の子どもの居場所づくりの手引き」の概要を踏まえ、被災後に求められる子どもへの対応・支援において欠かせないポイントを整理するとともに、平常時から学校・地域・行政はどのような連携が可能かについて、参加者の皆さんと一緒に考える機会とします。

■プログラム（予定）

第7回：令和8年2月3日（火）15:00～16:45（質疑応答含む）

14:30 開場（オンラインは14:50開場）

15:00 開始・趣旨説明

15:05 専門家によるご講義

16:05 小休憩

16:10 会場からの質疑応答・次回のリレー講座案内など

16:45 閉会

■場所：鳥羽商工会議所3階 かもめホール＋オンライン(ZOOM)

■参加費：無料

■連絡先・申し込み方法 2月1日（日）〆切

※スマホ・タブレット端末をお持ちの方は、二次元コードから参加申し込みをお願いします

右の二次元コードから（どなたでも）

※二次元コード以外の参加申し込みの場合は、お電話・メールで受け付けます

<電話の場合>

鳥羽市教育委員会 学校教育課

☎⑤ 1 2 6 5（電話でお申し込み希望の学校関係者のみ）

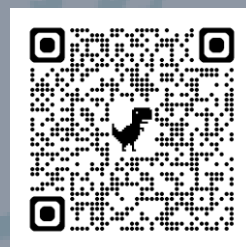
鳥羽市 総務課 防災危機管理室

☎⑤ 1 1 1 8（電話でお申し込み希望の市民の方）

<メールの場合>

SEEDS Asia鳥羽プロジェクトオフィス

Eメール：mitsuko.otsuyama@seedsasia.orgまで



二次元コードからタブレット端末・スマホでお申込みいただけます

本講座は、鳥羽市と認定NPO法人SEEDS Asiaが締結した「地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業」に基づく共同事業の一環として実施し、一般財団法人日本民間公益活動連携機構およびジャパン・プラットフォームによる支援を受けています。



【主催】認定NPO法人 SEEDS Asia
【共催】鳥羽市 鳥羽市教育委員会

